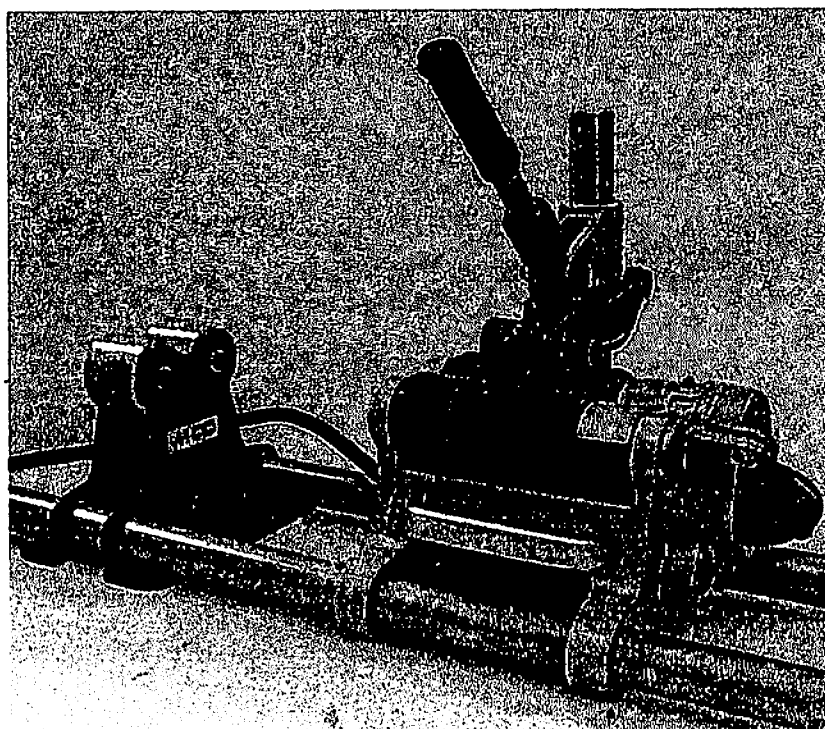
高速パイプカッタ60F
高速パイプカッタ60U

取扱説明書

- この取扱説明書は、実際にこのカッタをお使いになる方に必ずお渡しください。
- 安全に能率よくお使いいただくため、ご使用の前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みになってください。
- この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

株式会社 松阪鉄工所

1．このたびはＭＣＣ「高速パイプカッタ60」をお買い上げいただき有り難うございます。

カッタをご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

2．この取扱説明書は、カッタを安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を防ぐために守って頂きたい事項が記載されております。

お読みになった後は、カッタをご使用される方が、いつでも取り出してお読みになれるように保管しておいてください。

わかり易くするための表示と図記号の意味は、次のようになっていますので、内容をよく理解してからお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しております。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しております。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも、安全に関する重要な事項を記載しておりますので、必ずお守りください。

目　次

1 安全にご使用いただくために

(1) 安全上のご注意

⚠ 警 告

1) カッタをご使用される前に、この取扱説明書を必ずよくお読み頂き、使い方を十分理解してください。

2) この取扱説明書に指定された目的・用途以外に使用しないでください。
　この機械の能力を超えた無理な作業はしないでください。無理な作業は、カッタを損傷するばかりでなく、事故の原因となります。
　モータがロックするような、無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。

3) カッタを改造したり、取り付けてある部品を取り外したりしないでください。

4) 作業場は十分なスペースを取り、つまずいたりコードを引っかけたりしないよういつも整理・整頓をして、きれいに保ってください。

5) 正しい姿勢で作業が出来る安定した足場を必ず確保してください。

6) 作業場は、十分明るくしてください。

7) 安全に適した服装で作業してください。
　袖口・裾の開いた服、だぶだぶの衣類やネクタイなどカッタの回転部に巻き込まれる恐れのある物は着用しないでください。
　軍手等、巻き込まれ易い物を使用しないでください。

8) 保護メガネ、安全帽、安全靴を着用してください。

9) 作業関係者以外は、作業区域に近づけないでください。

10) 作業者以外にカッタや電源コードに触れさせたり、操作をさせないでください。

⚠ 警　告

11）作業の際は安全に対する十分な注意を払ってください。
　カッタを使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、まわりの状況等、十分注意して慎重に作業してください。
　疲れているとき、病気や薬物の影響があるとき等、作業に集中できない場合は、カッタを使用しないでください。

12）カッタを雨中や湿気の多い場所、濡れた場所で使用しないでください。
　感電事故や故障の原因になります。

13）可燃物、可燃性の液体やガスのある場所で使用しないでください。
　引火、爆発の恐れがあります。

14）感電に注意してください。
　必ず接地（アース）してください。（電源コードのワニロクリップを使用してください。）
　濡れた手で差込プラグを扱わないでください。

15）電源コードは大切に扱ってください。
　コードを引っ張ったり、コードの上に物を置いたりしないで下さい。
　コードが損傷したまま使用しないでください。
感電や火災の恐れがあります。

16）屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。（屋外での使用に適合するコードを使用してください。）
　コードは、電圧降下が起きないよう、なるべく太い物を短くして使用してください。

17）作業を始める前には、必ず点検を行ってください。
　各部の損傷など異状が見つかった場合は修理を依頼してください。絶対に異状のあるままでは使用しないでください。
　また使用中に異状に気づいたり、損傷がある場合はすぐにスイッチを切り、差込プラグをコンセントから抜いてください。
（修理はお買い求めの販売店または弊社営業所に依頼してください。）

⚠ 警 告

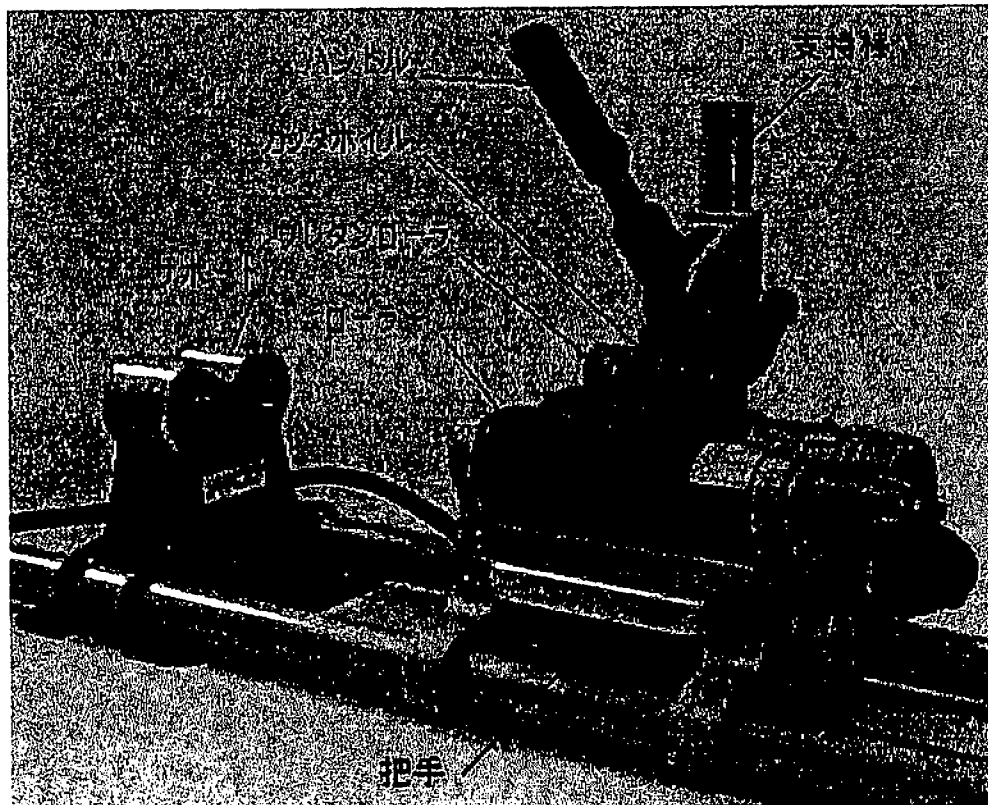
18) 次の場合は、カッタのスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
使用しないとき。
作業中にカッタを移動する時。
付属品を交換する場合。
点検、清掃をする場合。
その他危険が予想される場合。
プラグが差し込まれたままだと、誤ってスイッチに触れた場合、不意に作動してケガをする恐れがあります。

19) 指定の付属品や替刃を使用してください。
取扱説明書およびカタログに記載されている付属品や替刃以外のものは、使用しないでください。事故やケガの恐れがあります。

20) 使用しない場合は、きちんと保管してください。
乾燥した適温の室内で、子供の手の届かない場所またはカギのかかる場所に保管してください。

21) 修理は、お買い求めの販売店または弊社営業所にお申しつけください。
間違った修理をしたり、専門の知識や技能のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やケガの原因となり、たいへん危険です。

2 各部の名称 および 仕様・付属品

（1）各部の名称

写真は、パイプカッタ60F（EHC60F）＋超硬バーセット（EHCR60ST）＋サポート（EHCS60）

（2）仕様・付属品

		EHC60F	EHC60U
電動機		単相シリースモータ 350W AC100V 50／60Hz	
ローラー	材質	鉄	ウレタン
	回転数(r.p.m) 無負荷時 60Hz	500	
機械寸法（mm） (L)×(W)×(H)		250×210×330	
重量（kg）		11.5	11
付属品	カッタホイルEHCE60（カッタ装着済）	○	○
	特殊管用カッタホイルEHCE62	ー	○
	取扱説明書	○	○

2 各部の名称 および 仕様・付属品

（３）カッタホイルの種類と切断能力

①カッタホイルの種類

カッタホイル品名	品番	外径	色
カッタホイル	EHCE60	φ33.5mm	黒
特殊管用カッタホイル　※1	EHCE62	φ35.5mm	シルバー

②切断能力

		EHCE60	EHCE62 ※1
一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) 水道用ステンレス鋼管 (JWWA G 115)	１３Ｓｕ～６０Ｓｕ	○	×
建築用・水道用銅管 (JIS H 3300・JWWAH101)	１５Ａ～５０Ａ (厚さ1.78ｍｍ以下)	○	×
ねじなし電線管 (JIS C 8305)	Ｅ１９～Ｅ５１	○	×
その他の管	厚さ1.5ｍｍ以下	○	×
表面が樹脂ｺｰﾃｨﾝｸﾞされた管 (装飾パイプ、手摺パイプ等)	厚さ1.5～4.0ｍｍ 但し金属部厚さ1.5ｍｍ以下	×	○

カッタホイルの切断能力のパイプ以外切断しないでください。

※1　EHCE62はEHC60Uのみに付属しています。

（４）別売品

①サポート

サポートは単品でも販売しております。

品名	品番	重量	備考
サポート	EHCS60	2.4ｋｇ	アルミ製ローラー
サポートU	EHCS60U	2.0ｋｇ	ウレタン製ローラー

EHC60UにはEHCS60Uを推奨いたします。

②超硬バーセット

本体ご購入後の追加はできません。

品名	品番	回転数(r.p.m)無負荷時 60Hz
超硬バーセット	EHCR60ST	10,000

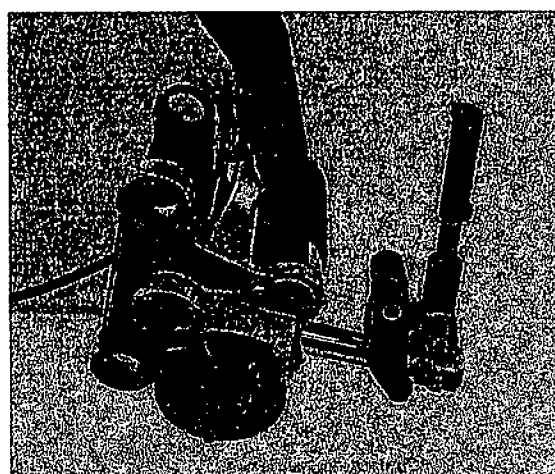
3 ご使用前の準備

（1）カッタの運搬・据え付け

■カッタの運搬

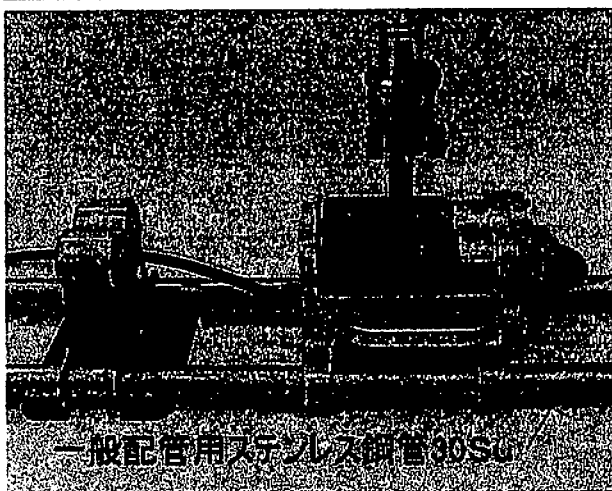
⚠ 警　告

① カッタを運搬するときは、必ず機械の把手を持って行ってください。
② 把手が運搬中に折れたり、外れたりすると大変危険です。把手の亀裂や緩み、異常がないか常に点検を行い異常があれば修理してください。
③ カッタを運搬するときは、必ず超硬バーカバーを閉じて行ってください。

① 運搬の際は、把手に水や油などで手が滑って落すことのないよう、把手や手の汚れをよく拭き取ってから行ってください。
② 持ち上げる時は、カッタが後方へ倒れないように、ハンドルに片手をそえながら把手を持ち上げてください。
③ 運搬するときは、必ず機械の把手を持って行ってください。ハンドルなど把手以外の場所を持って運搬しないでください。
④ カッタを下ろす時は、支持棒を床面にぶつけないように、ハンドルに片手をそえながら把手を持って下ろしてください。

3 ご使用前の準備

■カッタの据え付け

⚠ 注　意

① カッタの据え付けは、砂やホコリをモータ部に吸い込まないために、きれいな場所を選んでください。
② カッタ底板の変形、本体の割れ、モータの破損を防ぐために、平らな場所を選んで据え付けてください。
③ カッタの据え付けは乾燥した場所を選んで行ってください。

① カッタの据え付けは、平らな場所を選んで据え付けてください。
傾いた状態で使用すると切断が螺旋になって上手く切れないことがあります。
② 長いパイプを切断するときは、サポートを使用してください。
●一般配管用ステンレス鋼管　３０Ｓｕを使用すると、カッタ本体とサポートを直線上に配置しやすくなります。

（２）電源の接続

⚠ 警　告

① スイッチがＯＦＦになっていることを確認し、電源にカッタのキャブタイヤコードのプラグを差し込んでください。
② 電源は単相100Ｖをご使用ください。
③ 必ずアース（接地）をしてください。
（キャブタイヤコードプラグ部のワニロクリップを使用してください。）

●コンセントが遠くてコードを延長する場合は2.0mm²以上の太いキャブタイヤコードをなるべく短くしてご使用ください。（細いコードや長いコードは、電圧が下がってモータを損傷する原因になります。）
●キャブタイヤコードはキズを付けないよう大切に扱ってください。コードを引っ張ったり、コードの上に物を置いたりしないでください。

4 ご使用方法

⚠ 注　意

① 必ず１～３ページの「安全にお使いいただくために」をお読みください。
② ご使用前の準備は正しく行われているか確認してください。
（６・７ページ参照）
③ 運転中に機械の調子が悪かったり、異常がある場合はすぐにスイッチを切り運転を中止してください。キャブタイヤのプラグもコンセントから抜いてください。
④ 運転中は危険ですので、回転部や刃部に手や顔を近づけないでください。
⑤ 作業開始前や終了後には、ゴミ・切粉等を除去してカッタをきれいに保ってください。
⑥ 作業終了後は、必ずスイッチを切りキャブタイヤのプラグをコンセントから抜いてください。

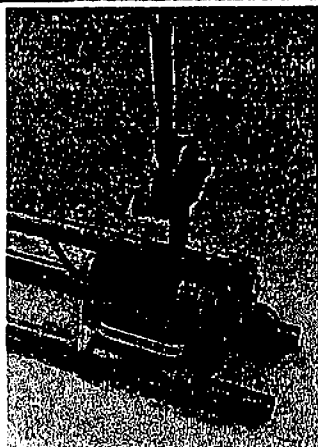
（１）パイプの切断

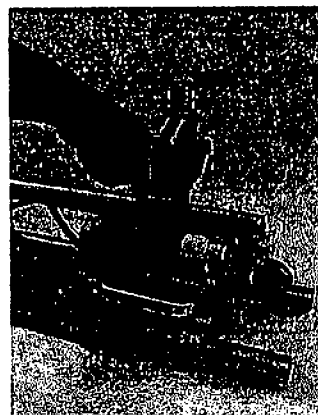
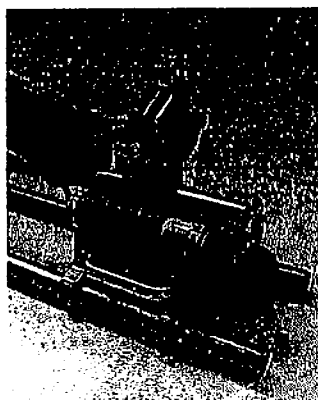
⚠ 警　告

① パイプが人や物に当たると危険です。パイプを取り外す時は、周囲に人がいないことを確認してください。（長尺パイプの時は特に注意してください）
② 回転しているパイプおよびローラーに触らないでください。
切断後パイプを取り外すときは、スイッチをＯＦＦにして、完全にローラーが止まってから行ってください。
③ カッタホイルは大変鋭利になっています。直接手指で触れないでください。
④ 切断時は超硬バーカバーを必ず閉じておいてください。
⑤ カッタホイルの切断能力のパイプ以外切断しないでください。
（５ページ参照）

⚠ 注　意

① 切断時は、ハンドルを適切な力で押えて切り込んでください。押える力が強すぎると、切断するパイプが空回りしたり、パイプの変形、カッタホイルの損傷などの恐れがあります。特に切り始め および 切れ落ちの時はゆっくり押えて切り込んでください。
② 切断したパイプは螺旋のキズがついていないか確認してください。
パイプ表面にキズがついていると、継ぎ手の種類によっては、継手を損傷したり、水漏れの原因になります。

4 ご使用方法

① ハンドルを開放し、カッタホイルを一番上まで上げてください。
（写真のようにハンドルを直立させると、開放状態になります。）
パイプをローラーの上に取りつけてください。
（長尺パイプの場合は、サポートを使用してください。）

② ハンドルを直立させたままで（開放状態）、カッタホイルがパイプに当たるまで 、ハンドルを <u>ゆっくり</u> 下げてください。
（勢いよく下げるとカッタホイルが損傷する恐れがあります。）

③ ハンドルを手前に倒すと、カッタホイルがパイプに押えつけられます。
カッタホイルをパイプに軽く押えた状態で、スイッチをＯＮにしてください。
パイプが回転します。

④ ハンドルを更に手前に倒して、パイプを切断してください。
（特に切り始め および 切れ落ちの時はゆっくり切り込んでください。）

⑤ パイプの切断が終わったら、スイッチをＯＦＦにしてください。

⑥ ローラーの回転が完全に止まってから、ハンドルを開放し、カッタホイルを一番上まで上げてパイプを取り外してください。

（2）パイプの内面取り　超硬バーセット（EHCR60ST）の場合

⚠ 警　告

① パイプが人や物に当たると危険です。パイプの内面取りをする時は、周囲に人がいないことを確認してください。（長尺パイプの時は特に注意してください）

② 超硬バーの刃部は大変鋭利に出来ています。直接手指で触れないでください。

超硬バーは大変高速で回転しています。回転中は絶対に手指や足等を近づけないでください。

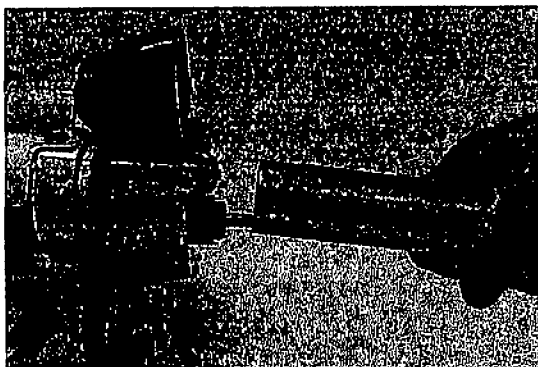
③ 内面取りを行うと、切粉が周囲に飛び散ります、<u>必ず保護メガネを着用</u>してください。

④ パイプの内部に入った切粉は、速やかに 確実に除去してください。

⑤ 切断中、運搬中など面取り作業中以外は超硬バーカバーを必ず閉じてください。

⑥ 運転中はローラーに手指を近づけないでください。

⚠ 注　意

① パイプの端面は、切断時に内面に倒れ込みができています。拡管式の継ぎ手を使用するときはパイプの端面の内側への倒れ込みを確実に除去できるまで面取りをきれいに行ってください。

① 超硬バーカバーを開いてから、スイッチをＯＮにしてください。

② 超硬バーをパイプ端面の内側に挿入し、パイプを反時計回りに動かして面取りをしてください。

● 弱い力で複数回 反時計回りに動かして面取りをすると、速くきれいに面が取れます。

強い力で いっきに面取りをすると、仕上がりが悪くなり、かえって時間がかかります。

③ 面取りが終わりましたら、スイッチをＯＦＦにして超硬バーの回転が確実に止まってから超硬バーカバーをしてください。

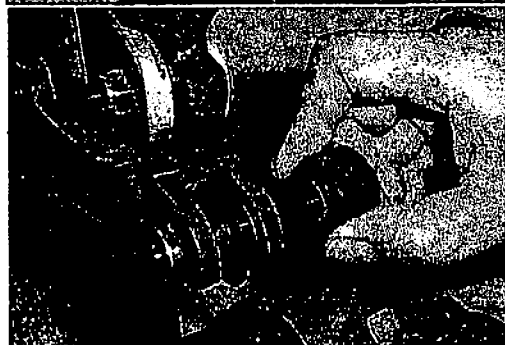
5 替刃の交換

⚠ 警　告

① 替刃の交換は、必ず差し込みプラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。
② 運転直後は刃が熱くなっています、しばらく放置して冷えてから作業を行ってください。
③ 替刃は必ず指定された専用のものを使用してください。

（１）カッタホイル、ガイドローラーの交換

● カッタホイルが損傷したり、切れ味が悪くなったときは、カッタホイルを交換してください。
● ガイドローラーが劣化したときは、ガイドローラーを交換してください。

① カッタホイルを交換するときは、ガイドローラーの左側のＥリングを、マイナスドライバー等で外してください。（ガイドローラー交換時は左右両方のＥリングを外してください）

② シャフトを右側に引き抜き、カッタホイル、ガイドローラーを交換してください。
（カッタホイルに付いているベアリングの側面にグリスを塗布してください。）

③ ②①と逆の手順で組みたててください。

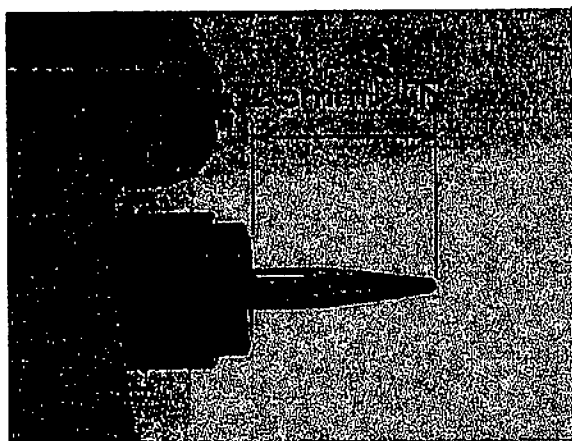
替刃品名	品番
カッタホイル替刃	EHCE60
カッタホイル替刃アッセンブリー	EHCA60
特殊管用カッタホイル替刃	EHCE62
特殊管用替刃アッセンブリー	EHCA62

※「替刃アッセンブリー」は、カッタホイル替刃とウレタンローラーのセットです。

5 替刃の交換

（２）超硬バーの交換　　　超硬バーセット（EHCR60ST）の場合

●超硬バーが損傷したり、切れ味が悪くなったときは超硬バーを交換してください。

① 対辺１７ｍｍ、２１ｍｍのスパナまたはモンキレンチで、ナットを緩めて超硬バーを外してください。

② 取り付けるときは、ナットから超硬バーの先端までの寸法を２５ｍｍ以下にしてしっかり締付けてください。

替刃品名	品番
超硬バー替刃	EHCR60

6 お手入れについて

⚠ 警　告

お手入れは、必ず差し込みプラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

（1）各部の注油

●油切れを起こさないように適時グリスを塗布してください。

① カッタホイルに付いているベアリングの側面
② カム部の摺動面
③ 支持棒の摺動面

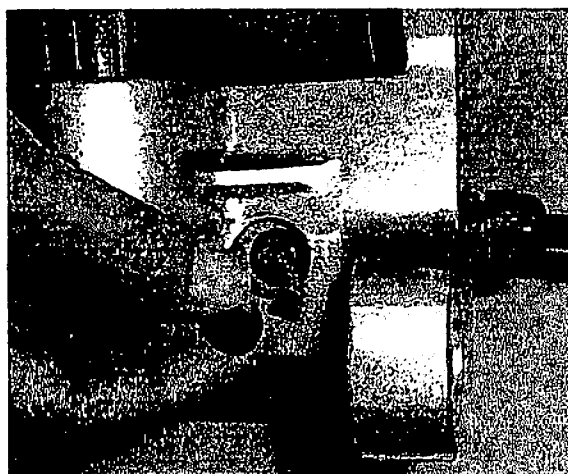
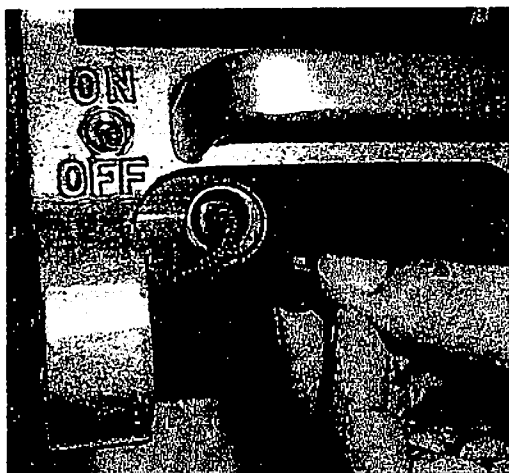
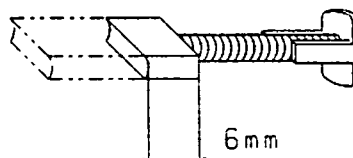
（2）各部の清掃

① 支持棒は、常にスムーズに動くよう摺動部を清掃してください。
② 機械の表面は、乾いた柔らかい布で拭いてください。
　シンナー、ベンジン、ガソリン、灯油、石油等は使わないでください。塗装がはげる恐れがあります。

（3）カーボンブラシの交換

⚠ 注　意

① 運転直後はモータが熱くなっております、しばらく放置して冷えてから作業を行ってください。
② カーボンブラシは必ず指定された専用のものを使用してください。
違った品を使うとモータ焼け等の故障原因となります。
③ カーボンブラシを交換する場合は、左右２個共、新しい物に交換してください。
④ カーボンブラシやブラシホルダーに、ゴミが付着しないよう注意してください。

① カーボンブラシキャップをマイナスドライバーで外してください。
② 古いカーボンブラシを抜き取り、新品と交換してください。
③ カーボンブラシキャップをマイナスドライバーで締め付けてください。

7 故障かな？と思う前に

下記の対策を行っても異常が解消しない場合は、
お買い上げのお店へご依頼ください。

症状	原因	対策
パワーが出ない	供給電源の電圧が低くないですか？	適切な電圧を確保してください。
	延長コードが長すぎたり、細すぎたりしていませんか？	延長コードは、2.0mm²以上の太さのものを可能なかぎり短くしてご使用ください。
モータが回らない	電源コードのプラグが抜けていませんか？	電源にプラグをしっかり差し込んでください。
	カーボンブラシが摩耗していませんか？	カーボンブラシを交換してください。カーボンブラシが割れたり、欠けたり、かたよった減り方をしている場合は、機械の異常も考えられますので販売店へご相談してください。
パイプが回転しない	カッタホイルが欠けたり、割れたりしていませんか？	カッタホイルを新品と交換してください。
	カッタホイル、ガイドローラーはスムーズに回りますか？	カッタホイル側面の注油、ガイドローラーの交換をしてください。
	ハンドルの押え方が強すぎたり弱すぎたりしていませんか？	適切な力でハンドルを押えて切り込んでください。切り始め、切れ落ちのときはゆっくり押えてください。
	ハンドルを押える前にスイッチをＯＮにしていませんか？	ハンドルを押えてからスイッチをＯＮにしてください。
	パイプが変形していませんか？	変形していないパイプを使用してください。
	ローラー、パイプに油が付着していませんか？	油をきれいに拭きとってください。
切断部が螺旋になる	傾いた場所で使用していませんか？	平らな場所で使用してください。長尺のパイプはパイプサポートを使用してください。
	ハンドルを押える時、左右に力がかかっていませんか？	ハンドルを真直ぐに下ろして切断してください。
	ハンドルの押え方が弱すぎませんか？	もう少し強い力でハンドルを押えて切り込んでください。
	パイプが変形していませんか？	曲がったり、つぶれたりしたパイプは切断できません。変形していないパイプを使用してください。
	カッタホイルが欠けたり、割れたりしていませんか？	カッタホイルを新品と交換してください。
パイプの切断面にバリができる	カッタホイルが欠けたり、割れたりしていませんか？	カッタホイルを新品と交換してください。

8 お問い合わせは

異常、故障が発生した場合は、本書に記載されている内容（各使用方法、注意事項、お手入れ等）をご確認の上、お買い上げのお店へご連絡ください。

※品名、品番、機械No.、お買上げ年月日も合わせてご連絡ください。
機械No.は本体銘板に表示してあります。

MCC

本　　社	〒578-0965	東大阪市本庄西2丁目82	☎(06)6747-6921	FAX(06)6747-6926
東京支店	〒110-0016	東京都台東区台東2丁目25-4　たかべビル2階	☎(03)5807-6055	FAX(03)5807-6620
名古屋営業所	〒460-0024	名古屋市中区正木2丁目15-13	☎(052)332-4559	FAX(052)331-9395
福岡営業所	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南3丁目3-25	☎(092)441-3016	FAX(092)441-3024
広島営業所	〒730-0802	広島市中区本川町1丁目3-2	☎(082)292-5288	FAX(082)233-2471
仙台営業所	〒984-0042	仙台市若林区大和町4丁目15-8	☎(022)235-6014	FAX(022)235-6027
札幌営業所	〒062-0001	札幌市豊平区美園一条2丁目2-13	☎(011)822-8570	FAX(011)832-4041
北関東営業所	〒373-0851	群馬県太田市飯田町1245-1	☎(0276)48-9116	FAX(0276)48-9117

株式会社 松阪鉄工所